



発表会おつかれさまでした！ 第34回藤田佳代舞踊研究所発表会 2011年10月22日 神戸文化大ホール 「山のカレンダー」 「おひさまにむかって12のダンス」

第34回発表会無事終了しました。

大雨のなか1000人あまりのお客さまがご来会下さり大変嬉しく思っております。ありがとうございました。

また タイミングよく拍手をくださったたり ほーという賛嘆のお声をくださったたり 出演者はこども おとなに拘わらず次への一步の糧になったことと思います。

出演者は舞台一回立つ毎にひとまわり大きくなったと確信しています。

そして各自それぞれが自分の役をよく理解し踊ってくれました。これは大変大事なことで作者が思っている作品の意図を躍りで表現してくれたということです。大変感謝しています

小さいからだに緊張と集中とで舞台袖で待っている間 一言もしゃべってもらえないで わたしも緊張してしまったり 何回もおさらいをしているので近づくことが畏れ多く一歩下がって見ていたりでしたが こどもたちは大仕事を果たしました。

リズムクラスは先生6人 助手2人 生徒13人 2クラスにわけてレッスンしています。

先生たちは大声あげて なかば叫びながら振付をし リハーサルを重ねてきましたが 生徒たちはおおむね冷静で 好きなことをする態度を貫いていて本番はどうなることかとヒヤヒヤしていましたが 舞台では どういうことでしょうか。一度もあったことのないところを ぴったりあわせてくれました。うれしかったです。

各教室 各クラスの役員の方に大変お世話になりました。目立たないところ わたしたちが見逃しそうなることをささえてくださいました。ほんとうにありがたく感謝しています。発表会には欠くのできない大切な プログラムパンフレット ロビー生花 など 広告を出して下さったみなさま 後援会のおかげでりっぱな豪華な美しいものでした。心から感謝しお礼を申し上げます

来年は10月20日(土)神戸文化ホールです。第35回です 35回もできるなんてほんとうにうれしいことです。がんばります。

どうぞご支援下さいませ。

藤田佳代

奇跡！

今年も一人の欠席もなく出演者全員力いっぱい 踊り切りました。これは奇跡のようなことで、今年も実に奇跡の発表会でした。

わたしの記憶するかぎり、出演者に何のトラブルもなく発表会の当日を迎えたことはあまりありません。軽いねんざは文字通り軽い方で、足を骨折した出演者のために振付を変えたことも一度ではなくありますし、腕の骨折でギブス付きでの出演は、何年かに一度は見る光景です。発熱で本番当日は別の部屋で待機して、それでも舞台に出た出演者もいます。出演をあきらめずによくがんばってくれたなあと思います。

今年も前日に高熱が出て・・・という話が何人かあったのですが(今年はいつもの年より多かった) 当日は元気に来てくれました。発表会に出たくて治りたい一念は必ず通じるんだなあ、と毎回そんな奇跡を目の当たりにするので、こちらもちろん心配はするのですが、きっと治ってくれる、治らなくても出演してくれるという信頼が心のどこかにありました。それでも楽屋でその子たちの顔を見ると、ほっとしました。これで今年の発表会はうまくいくな、と確信した瞬間でもありました。

菊本千永

文字通りの舞台の裏で

2年ぶりに文化ホールの大ホールでスタッフとして発表会の場に立たせていただきました。主に男性楽屋でちびっこのお世話と、第2部の「おひさまにむかって 12のダンス」で大きい方の山の後ろにスタンバイし、暗転したときに山を動かすというお手伝いでした。山の後ろにいたので2部は見る事が出来ずに残念でしたが、山を動かすことも1つの役だと思っていたので、見えないとはいえ山の後ろで座り込んだりせず、山を動かすタイミングまでずっと棒立ちだったのが少し大変だったかもしれません。

踊りの曲に聞き入りつつも、1つの幕ずっと舞台に立っていた日時計の踊りを思い出したりもしていました。といってもあのときの踊りはもう覚えていませんが...。久々に会ったちびっ子たちは体も中身も成長していて、以前よりももっと元気いっぱいでした。

1部のダンスを見たとき、みんな楽しそうに生き生きと踊っていて、「やっぱり体を動かして何かを表現することはいいことだなー」と思いました。山を動かしやすいように細工してもらったり、トラックにマットを運び込む手伝いをさせていただいたり、裏方みなさんには今回も大変お世話になりました。今までは舞台が終わってすぐに楽屋に戻って帰る仕度をしていたので、舞台の後片付けまでしたことがなかったので、裏方さんの大変さがよくわかりました。翌日かなりの筋肉痛になりましたが、いい経験になりました。

あと思い出といえば、楽屋でナミト君に「テル兄ちゃん恋人できた？」と唐突に言われ、「残念ながらおらんよ！」と即答してしまったことです。

TERU

終わりました！

夢洞楽 2011	8月8日(火)	北沢タウンホール	「人形 アノコノシアワセイノツテル」
ピッコロフェスティバル	8月14日(日)	ピッコロシアター	「竹は天をめざす」「ほらね」「3.11への祈り」
Dance Bouque 2011	8月28日(日)	本部スタジオ	
「未明」 萩原陽子	「a vagrant」 谷岡 亮	「わたしに似た人」 かじのり子	「AION」 向井華奈子

「ことづけ」 寺井美津子 「夜露」 金沢景子 「これまでも これからも 春になったら 苺を摘みに」 菊本千永
「忘れない」 松浦早希 「ユーモレスク」 梁河 茜 本田詠理奈 「朝」 藤原くるみ 「運ぶ」 平岡愛理

ひょうご洋舞フェスティバル2011 ふれあいの祭典 10月30日(日) 兵庫県立芸術文化センター大ホール
森優貴振付 「Flying Zero」 出演 金沢景子 かじのり子 向井華奈子 萩原陽子

先月、10月30日、芸術文化センターにおいて開催されました、ふれあいの祭典2011に先生達と一緒に出演させていただきました。初めて「みんなが顔合わせをした日から本番踊り終えるまでのどの瞬間をとっても自分にとって貴重な体験になったのではないかと思います。断定的な言い方ができていないのは、こんなにも得難く大切な経験はどこかで活用してこそその真価が発揮されるのに、自分はそれをし損ねており、どうしたらいいのかわからないからです。それが今後の私の課題です。

最後になりましたが、先生方、このような素晴らしい機会をあたえてくれて本当にありがとうございました。見に来てくれた友達にも感謝しています。 萩原陽子

今後の予定 観に来て下さい

寺井美津子モダンダンスリサイタル 12月3日(土)神戸朝日ホール 17:30開演

「一歩 また 一歩」「歌わない鳥」「はないちもんめなんて大きらい」「埋み火」「今日のこの空ほしいひと さいしょはゲー」
出演 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 石井麻子 萩原陽子 梁河茜 松浦早希 平岡愛理 田中文菜
仲間くみ子 山田麻以 数越慶子 荒川美智子 寺井美津子
稲益夢子 菊原麻衣花 渡辺草平 末吉花林 菊原麻理奈 渡辺菜子 藤井花名 五十嵐萌奈
演奏 佐藤泉(パロクヴァイオリン)「一歩 また一歩」 近藤ヒロミ(カリンバ)「埋み火」

6年ぶり3回目のリサイタルをさせていただきます。今回のリサイタルはとにかく開かせていただけることに感謝です。3.11に大震災があり、タイでは洪水騒ぎがおさまらず、世界が悲鳴をあげているような今の状況で、何を踊るのか。うーんと考えましたが、今までやってきたこと、今やっていること、それをまた一歩すすめること、それしかないと思いました。それしかできませんでした。

“この一歩”をテーマに4作品と佳代先生の作品「今日のこの空ほしい人」を上演します。「一歩 また 一歩」はパロクヴァイオリンを佐藤泉さんに「埋み火」はカリンバ&トゥルカナを近藤ヒロミさんに生演奏していただきます。佳代先生、先生方、研究生はもちろんジュニア生、子どもたちとたくさんの方に力を出していただき、ようやく形ができてきました。後もう少し頑張りたい舞台にしたいと考えています。ルミナリエの真最中ですが、どうぞお出かけ下さい。 寺井美津子

クリスマス会 各教室年内最終稽古の日 本部教室 12月23日(金)東灘区民センター多目的室

いままであまりふれてこなかったクリスマス会ですが、発表会後の「終わってしまったな」という高揚とは反対の気持ちを「でもクリスマス会がある!!」と向上させてくれるたいせつな機会です。支部教室は通常は、各教室の最終稽古の日に普通の教室で行います。何を行うって、踊るのです。踊りの会なのです。

ジュニア科以上の研究生たちは、テーマと音楽を渡されて「はい、創りなさい」となります。そんな先輩たちを見てか、「わたしも創る!!」というジュニア未満の研究生たち、ご紹介したいと思います。ジュニア生以上は当然のこととして、省略させていただきました。

若江岩田教室 「ひまわりの庭」 村田恵利佳(小5) 「ツバサ」 木村はな(小5)
山の街教室 四季をテーマに 清河鈴羽(小5) 上田佳弥(小5) リオ(小5) 加藤颯希(小3) サヤ(小3)がそれぞれ自作自演
学が丘教室 「冬から春へ」 飯高天音(小5)と井上杏瑞(小5)の台本・構成、小2以上全員で振り付けを考えました。
エコー教室 音楽を聴かされ振りを考えてきなさいと教師に言い捨てられて、谷岡くるみ(小5)と盛田結美(小5)が振り付けしました。
大久保教室 「どんぐりころりん」柴田寧音(年長)と川端こころ(年長)による振付。
コープ兵庫教室 「秋のお別れパーティー」今木悟華(小6)の台本・構成
KCC加古川教室 「お花のおどり」石川歌純(年中)による振付。

本部教室のクリスマス会は一同勢ぞろいでスタジオとは別の場所で行います。テーマは、落ち葉です。各教室1作品ずつの20作品です。特記事項としましては、火曜日クラスの作品の音楽で、天満彩乃(小3)の演奏です。この試みは2年前から始めました。一回目は「トルコ行進曲」、昨年は「カゴメ変奏曲」、今年はカバレフスキーの「ソナチネ op13.1 1章と3章」です。生演奏で踊りたいところですが、そうすると彼女が踊れなくなるので、録音で踊ります。

創作実験劇場 2012年2月25日(土)うはらホール

編集後記

まことに個人的でダンスとは関係のないことではありますが、私 TPP 参加には反対です。国際化だのグローバル化だの、世界に置いて行かれるぞ、などと脅かすように煽られています。とにかく「たべもの」に関してのみ、なぜ競争力をつけなければならないのか、なぜ強くなければならないのか理解ができません。食は命に直結していること、市場原理を当てはめるべきではないと思っています。 責任編集 菊本千永